



作成日 2021年3月26日

## 1. 製品および会社情報

【製品名(化学名、商品名)】成形機用洗剤 アムテクリーンA AP-10

## 【製造者情報】

会社名:株式会社 アムテック

住所:大阪府豊中市稲津町3-1-1

連絡:TEL 06-6866-8508 FAX 06-6864-1446

担当部門:開発グループ

## 2. 危険有害性の要約

## 【GHS分類】

火薬類: 分類対象外  
可燃性・引火性ガス: 分類対象外  
可燃性・引火性エアゾール: 分類対象外  
支援性・酸化性ガス: 分類対象外  
高压ガス: 分類対象外  
引火性液体: 分類対象外  
可燃性固体: 分類できない  
酸化性液体: 分類対象外  
金属腐食性物質: 分類できない  
急性毒性  
経口: 分類できない  
経皮: 分類できない  
吸入(ガス): 分類対象外  
吸入(蒸気): 分類対象外  
吸入(粉塵、ミスト): 分類できない  
皮膚腐食性・刺激性: 分類できない  
感作性  
呼吸器: 分類できない  
皮膚: 分類できない  
生殖細胞変異毒性: 分類できない  
発がん性: 分類できない  
生殖毒性: 分類できない  
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露): 分類できない  
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露): 分類できない  
吸引性呼吸器有害性: 分類できない  
水生環境性  
急性有害性: 分類できない  
慢性有害性: 分類できない  
GHSに分類に該当しない他の危険有毒性: 特になし

重要な徴候: 特になし

想定される非常事態の概要: 特になし

国/地域情報: 「15.適用法令」を参照

## 【GHSラベル要素】

絵表示 : なし  
注意喚起語 : なし

## 【危険有害性情報】

溶融樹脂からの発生ガスは、眼や呼吸器を刺激する恐れがある。  
海洋や河川、水域への放出により、環境汚染を起こす恐れがある。



作成日 2021年3月26日

## 3. 組成、成分情報

## 【単一製品・混合物の区分】混合物

名称	化学式	CAS#	配合量
ポリスチレン	$(\text{CH}_2\text{CHC}_6\text{H}_5)_n$	9003-53-6	非公開
ポリプロピレン	$(\text{CH}_2\text{CH}(\text{CH}_3))_n$	9002-07-0	非公開
酸化亜鉛	ZnO	1314-13-2	非公開

## 4. 応急措置

眼に入った場合 : 直ちに流水で十分洗浄する。痛みが取れない、過度に涙が出る、赤目が続く、等の場合は、専門医の診療を受ける。

皮膚に付着した場合 : 流水や石鹼水で十分に洗い流す。痛みや炎症等を起こした場合は、専門医の診療を受ける。

吸入した場合 : 咳き込む、息切れする、喉や呼吸器管に刺激を感じる等の症状がある場合は、直ちに新鮮な空気のある所へ移動する。さらにその症状が治まらない時は、専門医の診療を受ける。

## 5. 火災時の処理

消火剤 : 水、粉末、二酸化炭素、泡  
消火作業の際は、吸気式呼吸保護具等の各種保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

道路や床にこぼした場合、転倒の恐れがあるので集めて処分する。  
下水、河川、湖泥、海洋に排出されないよう注意する。  
飛散したものは、掃き集めて密閉できる空容器に回収する。

## 7. 取扱いおよび保管上の注意

目にへ接触は避け、生じたほこりを吸い込まないようにする。  
乾燥した冷暗所に十分な換気をして保管する。

## 8. 暴露防止および保護措置

許容濃度 : ポリプロピレンの許容濃度は、日本産衛生学会、ACGIH共に設定されていないが、粉塵が発生する場合、次の値を採用するのが望ましい。

日本産業衛生学会(2015年)の第3種粉塵に対する勧告値

吸入性粉塵 2mg/m<sup>3</sup> 総粉塵 8mg/m<sup>3</sup>

ACGIH(2015年)の一般粉塵に対する推奨値

Respirable particles: 3mg/m<sup>3</sup> Inhalable particles 10mg/m<sup>3</sup>

保護具: 状況に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用する。

衛生対策: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと  
取り扱い後はよく手をあらうこと



作成日 2020年6月29日

---

## 9. 物理・化学的性質

---

物理的状態、形状、色等: 個体(ペレット)  
臭い: 無臭  
融点: 100-130°C  
引火点: 非引火性  
爆発範囲: データ無し  
比重: 1.1-1.2  
溶解度: 水に不溶  
自然発火温度: >270°C ASTM E659  
分解温度: データ無し

---

## 10. 安定性および反応性

---

安定性: 通常の取り扱いで安定である。  
危険有害反応性可能性: 燃焼、高温(300°C以上)条件化での成形加工時に分解物  
が発生する恐れがある。  
避けるべき条件: 火気厳禁、火源との接触をさけること。  
高温、高湿雰囲気下での保管を避けること。  
危険有害な分解生成物: 一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素およびその酸化物

---

## 11. 有害性情報

---

急性毒性  
経口: データ無し  
経皮: データ無し  
吸入(粉塵): データ無し  
皮膚腐食性・刺激性: データ無し  
目に対する重篤な損傷・眼刺激性: データ無し

---

## 12. 環境影響情報

---

生態毒性: データ無し  
残留性/分解性: 通常的环境下において、長時間分解しない  
生体蓄積性: データ無し  
土壤中の移動性: データ無し  
オゾン性: データ無し

---

## 13. 廃棄上の注意

---

廃棄方法: 焼却処理を行う場合、大気汚染防止法等の関連法令に従い処理を行うこと  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、関係法令を  
遵守して適正に処理すること  
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に、関連保冷に従い処分  
すること



作成日 2020年6月29日

---

#### 14. 輸送上の注意

---

##### 国際規制

UN (国際勧告): 危険物に該当しない

IMDG (国際海上危険物規則) コード: 危険物に該当しない

##### 国内規制

IATA-DGR (国際航空運送協会危険物規則): 危険物に該当しない

消防法: 指定可燃物

同法の規定に従った容器、積載方法による輸送を行うこと

安全対策等: 包装に傷つけたり汚すような取扱い厳禁。荷崩れ防止、水漏れ防止、異物混入防止措置を講じること

---

#### 15. 適用法令

---

労働安全衛生法: 非該当

毒劇物取締法: 非該当

消防法: 指定可燃物

化審法(特定化学物質、指定化学物質): 非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法): 非該当

---

#### 16. その他の情報

---

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。  
危険・有害性の情報は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しております。